

2016年度 全日本ハンググライダー学生選手権 in 足尾 大会要綱

1. 公認大会

JHF、JSFFの公認大会とする。

2. 対象

学生リーグ対象大会である。

3. 参加資格

日本学生フライヤー連盟に所属しており、JHFフライヤー会員登録証が有効な者で、JHF HG・B級以上所有者。

4. 参加機体

F.A.I.クラス1に限る。使用機体は原産国の運用限界が明記された物とする。エントリーNo.はセールにテープで張り、遠くからみて分かる色にし、明瞭であることをスタッフが確認する。選手の所持する技能証に応じて、メーカーが推奨するレベルの機体を使用すること。また、1st Class および 2nd Class では、シングルまたはダブルサーフェイスのキングポストのある機体を使用すること。

5. 参加機体の変更

原則として、同機種・同サイズとする破損により修理不能の機体変更は、競技委員長の判断により他機種・他サイズのものに変更することができる。

変更の際は、書面にて競技委員長に機体変更申請を提出し、機体検査を受けること。

6. 装備

ヘルメット（ハンググライダーに適した、強度のある物）、パラシュート（180日以内にリパックされたもの）、サブライン、ロック付きカラビナを必ず装備すること。無線はスカイレジャー無線を使用する。以上を満たしていないものは競技に参加できない。

7. フライトの成立及び大会成立

フライトの成立は各クラスの競技規定に準ずる。最低1本のフライト成立で大会成立とする。

8. 順位の決定

ハンググライダー学生リーグの年間競技規定に準拠する。

9. 大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない。競技に支障を来す行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある。

10. テイクオフ

主にハングメイン TO を使用するが、状況によっては CooTO も使用する。西 TO は使用しない。どの TO を使うかの判断は当日の朝、大会委員長、競技委員長、実行委員長の話し合いにより決定される。

11. ランディング

2nd、1st class で使用できる LD は、ハングメイン LD のみとする。Exp class に限り、ハングメイン LD に加え、モーパラ LD、ショップ横 LD、板敷 LD の使用も認める。クラスごとに指定されている LD 以外の場所へのランディングをアウトランディングとする。

12. フライト失格

飛行禁止空域フライト・空中接触・帰着申告時間内未提出・フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合そのフライトを失格とする場合がある。

13. 大会失格

危険行為・不正行為・飛行禁止空域内ランディング・大会規定に違反した選手は、大会役員会に諮り大会失格とする場合がある。

14. 雲中飛行

雲中飛行は禁止とされ、競技委員長、ほかの選手により監視される。雲中飛行を行った選手は、競技委員長の判断により、そのタスクのスコアを減点される。

15. 事故及び損害賠償

大会期間中、万一事故・傷害や損害が生じた場合、大会規定・エリアルールに則り本人とその担当教員の責任に於いて速やかに処置し、本部に報告すること。又、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償などの請求を決して行わないこと。

16. 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後一時間以内に文書で供託金 20,000 円を添えて競技委員長に提出すること。

17. 公式掲示板

公式掲示板を大会本部及びテイクオフに設置し、当日のフライト内容及び成績などを発表するので、選手は公式掲示板を確認すること。

18. アウトランディング

アウトランディングをした者は、必ずアウトランディング申告を行い、アウトランディング料金として 2,000 円及び被害に応じた額を支払うこと。

19. ハラスメント規定

日本学生フライヤー連盟ハラスメント規定が適応される。大会期間中のハラスメントの対応判断は大会実行委員長及びその命を受けたものが行う。ハラスメント行為を行った選手は即時大会失格とする。